

基本計画書

基本計画									
事項		記入欄						備考	
計画の区分		研究科の専攻に係る課程の変更							
フリガナ設置者		ガッコウホジン メイジダイク 学校法人 明治大学							
フリガナ大学の名称		メイジダイクダクダクイン 明治大学大学院 (Meiji University Graduate School)							
大学本部の位置		東京都千代田区神田駿河台1-1							
大学院の目的		学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、又は高度の専門性の求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を養い、文化の発展に寄与することを目的とする。							
新設学部等の目的		文理融合・領域横断型の基礎知識を身につけた上で、各系において専門知識を修得させ、多様化・複雑化・高度化が進展する社会の既存分野又は未踏分野において活躍できる高度専門職業人及び研究者を育成・輩出することを目的とする。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	理工学研究科 〔Graduate school of Science and Technology〕 新領域創造専攻 〔Course in Frontier Science and Innovation〕 計	3	5 5	— —	15 15	博士 (工学、理学 又は学術)	平成22年4月 第1年次	(駿河台校舎) 東京都千代田区 神田駿河台1-1 (生田校舎) 神奈川県川崎市多摩区 東三田1-1-1	
同一設置者内における 変更状況 (定員の移行、 名称の変更等)		情報コミュニケーション研究科情報コミュニケーション学専攻課程変更(平成21年5月届出予定) 教養デザイン研究科教養デザイン専攻課程変更(平成21年5月届出予定) 文学部文学科〔定員増〕(15)(平成21年6月認可申請予定) 法務研究科法務専攻〔定員減〕(△30)(平成21年6月届出予定)							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数					卒業要件単位数		
	理工学研究科新領域創造専攻	講義	演習	実験・実習	計	0単位			
教員	学部等の名称		専任教員等					兼任教員	
	新設分	理工学研究科 新領域創造専攻 (博士後期課程)	6 (6)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	0 (0)
組織	既設	計	6 (6)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	0 (0)
		法学研究科 公法学専攻(博士前期課程)	15 (15)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	4 (4)
概要	要	公法学専攻(博士後期課程)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	1 (1)
		民事法学専攻(博士前期課程)	19 (19)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	4 (4)
		民事法学専攻(博士後期課程)	15 (15)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	1 (1)
		商学研究科 商学専攻(博士前期課程)	47 (47)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	47 (47)	0 (0)	5 (5)
		商学専攻(博士後期課程)	35 (35)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (35)	0 (0)	2 (2)
		政治経済学研究科政治学専攻(博士前期課程)	19 (19)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	8 (8)
		政治学専攻(博士後期課程)	19 (19)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	1 (1)
		経済学専攻(博士前期課程)	29 (29)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	36 (36)	0 (0)	2 (2)
		経済学専攻(博士後期課程)	27 (27)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	29 (29)	0 (0)	0 (0)
		経営学研究科 経営学専攻(博士前期課程)	33 (33)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	34 (34)	0 (0)	13 (13)
		経営学専攻(博士後期課程)	27 (27)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	27 (27)	0 (0)	0 (0)
		文学研究科 日本文学専攻(博士前期課程)	5 (5)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	4 (4)
分		日本文学専攻(博士後期課程)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	0 (0)

教	員	組	の	設	概	要	分	既	文学研究科	英文学専攻（博士前期課程）	7 (7)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	1 (1)	平成21年5月届出予定
								英文学専攻（博士後期課程）	6 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	0 (0)			
組	仏文学専攻（博士前期課程）	7 (7)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	3 (3)										
	仏文学専攻（博士後期課程）	6 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	0 (0)										
	独文学専攻（博士前期課程）	5 (5)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	0 (0)										
	独文学専攻（博士後期課程）	5 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	0 (0)										
	演劇学専攻（博士前期課程）	3 (3)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	2 (2)										
	演劇学専攻（博士後期課程）	4 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (2)	0 (0)	0 (0)										
	史学専攻（博士前期課程）	19 (19)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	10 (10)										
	史学専攻（博士後期課程）	19 (19)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	0 (0)										
	地理学専攻（博士前期課程）	7 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (6)	0 (0)	3 (3)										
	地理学専攻（博士後期課程）	7 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (6)	0 (0)	0 (0)										
	臨床人間学専攻（博士前期課程）	12 (12)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	19 (19)										
	臨床人間学専攻（博士後期課程）	9 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	1 (1)										
	織	の	情報コミュニケーション研究科	情報コミュニケーション学専攻(博士前期課程)	10 (10)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	16 (17)							
				情報コミュニケーション学専攻(博士後期課程)	6 (6)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	0 (0)							
			教養デパート研究科	教養デパート学専攻(博士前期課程)	22 (22)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	25 (25)	0 (0)	1 (1)							
				教養デパート学専攻(博士後期課程)	20 (20)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	24 (24)	0 (0)	0 (0)							
			設	の	理工学研究科	電気工学専攻（博士前期課程）	16 (16)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	24 (24)	0 (0)	6 (6)					
						電気工学専攻（博士後期課程）	16 (16)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	0 (0)					
機械工学専攻（博士前期課程）					18 (18)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	25 (25)	0 (0)	4 (4)							
機械工学専攻（博士後期課程）					18 (18)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	0 (0)							
建築学専攻（博士前期課程）					6 (6)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	22 (22)							
建築学専攻（博士後期課程）					6 (6)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	0 (0)							
応用化学専攻（博士前期課程）	8 (8)	5 (5)			0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	5 (5)									
応用化学専攻（博士後期課程）	8 (8)	4 (4)			0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)									
基礎理工学専攻（博士前期課程）	26 (26)	10 (10)			2 (2)	0 (0)	38 (38)	0 (0)	35 (35)									
基礎理工学専攻（博士後期課程）	28 (28)	3 (3)			0 (0)	0 (0)	31 (31)	0 (0)	0 (0)									
概	の	新領域創造専攻（博士前期課程）	8 (8)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	16 (16)									
			農学研究科	農芸化学専攻（博士前期課程）	6 (6)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	5 (5)							
		農芸化学専攻（博士後期課程）	6 (6)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)									
		農学専攻（博士前期課程）	13 (13)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	14 (14)									
		農学専攻（博士後期課程）	12 (12)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	0 (0)									
		農業経済学専攻（博士前期課程）	6 (6)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	6 (6)									
		農業経済学専攻（博士後期課程）	6 (6)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	0 (0)									
		生命科学専攻（博士前期課程）	8 (8)	6 (6)	3 (3)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	9 (9)									
		生命科学専攻（博士後期課程）	8 (8)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	0 (0)									

教員組織の概要	既設	ガバナンス研究科 ガバナンス専攻		10 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	26 (26)		
		グローバル・ビジネス研究科 グローバル・ビジネス専攻		12 (12)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	45 (45)		
		会計専門職研究科 会計専門職専攻		12 (12)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	14 (14)		
		法務研究科 法務専攻		53 (53)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	56 (56)	0 (0)	20 (20)		
		計		792 (788)	150 (150)	20 (20)	0 (0)	962 (958)	0 (0)	328 (329)		
	合 計		798 (794)	153 (153)	20 (20)	0 (0)	971 (967)	0 (0)	328 (329)			
教員以外の職員の概要	職 種			専 任		兼 任		計				
	事 務 職 員			414 (414)		311 (311)		725 (725)				
	技 術 職 員			31 (31)		43 (43)		74 (74)				
	図 書 館 専 門 職 員			31 (31)		13 (13)		44 (44)				
	そ の 他 の 職 員			34 (34)		22 (22)		56 (56)				
	計			510 (510)		389 (389)		899 (899)				
校地等	区 分		専 用	共 用		共用する他の学校等の専用		計				
	校 舎 敷 地		2 3 8 , 1 8 7 m ²	0 m ²		0 m ²		2 3 8 , 1 8 7 m ²				
	運 動 場 用 地		3 6 8 , 6 9 1 m ²	0 m ²		0 m ²		3 6 8 , 6 9 1 m ²				
	小 計		6 0 6 , 8 7 8 m ²	0 m ²		0 m ²		6 0 6 , 8 7 8 m ²				
	そ の 他		3 0 7 , 1 4 4 m ²	0 m ²		0 m ²		3 0 7 , 1 4 4 m ²				
	合 計		9 1 4 , 0 2 2 m ²	0 m ²		0 m ²		9 1 4 , 0 2 2 m ²				
校 舎			専 用	共 用		共用する他の学校等の専用		計				
			2 8 0 , 7 8 1 m ² (2 8 0 , 7 8 1 m ²)	0 m ² (0 m ²)		0 m ² (0 m ²)		2 8 0 , 7 8 1 m ² (2 8 0 , 7 8 1 m ²)				
教室等	講義室		演習室	実験実習室		情報処理学習施設		語学学習施設			大学全体 補助職員にTAを含む	
	2 4 1 室		1 6 4 室	3 8 1 室		3 0 室 (補助職員150人)		2 3 室 (補助職員20人)				
専 任 教 員 研 究 室			新設学部等の名称				室 数					
			理工学研究科 新領域創造専攻 (博士後期課程)				9 室					
図書・設備	新設学部等の名称		図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	1. 申請研究科全体 2. 電子ジャーナルは外国書込みの数 3. 機械・器具は理工学部及び理工学研究科の数 4. 視聴覚資料は大学全体	
	理工学研究科 新領域創造専攻		31,500 [10,500] (29,800 [9,700])	455 [171] (455 [171])		8ﾊﾞｯｼﾞｰｼﾞ 12,326ﾀｲﾄﾙ 8ﾊﾞｯｼﾞｰｼﾞ 12,326ﾀｲﾄﾙ		38,276 (38,276)	3,886 (3,729)	0 (0)		
	計		31,500 [10,500] (29,800 [9,700])	455 [171] (455 [171])		8ﾊﾞｯｼﾞｰｼﾞ 12,326ﾀｲﾄﾙ 8ﾊﾞｯｼﾞｰｼﾞ 12,326ﾀｲﾄﾙ		38,276 (38,276)	3,886 (3,729)	0 (0)		
図書館			面積		閲覧座席数			収 納 可 能 冊 数			保存書庫を含む	
			2 3 , 9 1 4 m ²		3 , 1 1 0			2 , 4 3 0 , 4 1 6				
体育館			面積		体育館以外のスポーツ施設の概要							体育館には駿河台スポーツホールを含む
			1 2 , 4 4 9 m ²		バレーコート, テニスコート, ゴルフ練習場, プール等							
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分		開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		教員1人当り研究費等			4,305千円	4,373千円	4,443千円	― 千円	― 千円	― 千円		
		共同研究費等			81,069千円	82,366千円	83,684千円	― 千円	― 千円	― 千円		
		図書購入費		218千円	273千円	358千円	439千円	― 千円	― 千円	― 千円		
		設備購入費		― 千円	2,466千円	3,586千円	4,888千円	― 千円	― 千円	― 千円		
	学生1人当り 納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
			1130千円	850千円	850千円	― 千円	― 千円	― 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要				補助金, 資産運用の果実及び寄附金その他の収入をもって維持運営する								

既設大学等の状況	大学 の 名 称		明 治 大 学						所 在 地	
	学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度		
大 学 設	法学部	年	人	年次人	人		倍		【法学部・商学部	
	法律学科	4	900	－	3600	学士（法学）	1.06	昭和24年	政治経済学部	
	商学部								文学部・経営学部】	
	商学科	4	1020	－	4080	学士（商学）	1.05	昭和24年	（1～2年次）	
	産業経営学科	4	－	－	－	－	－	昭和24年	東京都杉並区永福	
	政治経済学部								1-9-1	
	政治学科	4	260	－	1040	学士（政治学）	1.08	昭和24年		
	経済学科	4	660	－	2640	学士（経済学）	1.14	昭和24年	（3～4年次）	
	地域行政学科	4	150	－	600	学士 （地域行政学）	1.13	平成14年	東京都千代田区	
	文学部								神田駿河台一丁目	
	文学科	4	400	－	1600	学士（文学）	1.14	昭和24年	1番地	
	史学地理学科	4	245	－	980	学士（文学）	1.15	昭和24年		
学	心理社会学科	4	75	－	300	学士（文学）	1.20	平成14年		
	経営学部									
	経営学科	4	380	－	1520	学士（経営学）	1.16	昭和28年		
	会計学科	4	170	－	680	学士（経営学）	0.98	平成14年		
	公共経営学科	4	100	－	400	学士（経営学）	1.13	平成14年		
	情報コミュニケーション学部									
	情報コミュニケーション学科	4	400	－	1600	学士 （情報コミュニケーション学）	1.11	平成16年		
	国際日本学部								【国際日本学部】	
	国際日本学科	4	300	－	1200	学士 （国際日本学）	1.17	平成20年	東京都杉並区永福	
	理工学部								1-9-1	
	電気電子工学科	4	－	－	－	－	－	平成元年	【理工学部・農学部】	
	等	電子通信工学科	4	－	－	－	－	－	平成元年	神奈川県川崎市
電気電子生命学科		4	220	－	880	学士（工学）	1.03	平成19年	多摩区東三田1-1-1	
機械工学科		4	120	－	480	学士（工学）	1.10	平成元年		
機械情報工学科		4	120	－	480	学士（工学）	1.09	平成元年		
建築学科		4	140	－	560	学士（工学）	1.10	平成元年		
応用化学科		4	110	－	440	学士（工学）	1.26	平成元年		
情報科学科		4	105	－	420	学士（理学）	1.16	平成元年		
数学科		4	55	－	220	学士（理学）	1.15	平成元年		
物理学科		4	55	－	220	学士（理学）	1.22	平成元年		
農学部										
農学科		4	130	－	520	学士（農学）	1.17	昭和24年		
状		食料環境政策学科	4	130	－	520	学士（農学）	1.23	昭和24年	
	農芸化学科	4	130	－	520	学士（農学）	1.12	昭和28年		
	生命科学科	4	130	－	520	学士（農学）	1.16	平成12年度		
	法学部（二部）									
	法律学科	4	－	－	－	－	－	昭和24年		
	商学部（二部）									
	商学科	4	－	－	－	－	－	昭和24年		
	産業経営学科	4	－	－	－	－	－	昭和24年		
	政治経済学部（二部）									
	政治学科	4	－	－	－	－	－	昭和24年		
	経済学科	4	－	－	－	－	－	昭和24年		
	況	文学部（二部）								
文学科		4	－	－	－	－	－	昭和24年		
史学地理学科		4	－	－	－	－	－	昭和24年		

既設大学の名称	明治大学大学院									
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
設	法学研究科	年	人	年次人	人		倍		東京都千代田区 神田駿河台一丁目 1番地	
	公法学専攻									
	博士前期課程	2	25	—	50	修士（法学）	0.50	昭和27年		
	博士後期課程	3	6	—	18	博士（法学）	0.61	昭和29年		
	民事法学専攻									
	博士前期課程	2	25	—	50	修士（法学）	0.36	昭和27年		
	博士後期課程	3	6	—	18	博士（法学）	0.22	昭和29年		
	商学研究科									
	商学専攻									
	博士前期課程	2	35	—	70	修士（商学）	0.69	昭和27年		
大	博士後期課程	3	6	—	18	博士（商学）	1.16	昭和29年		
	政治経済学研究科									
	政治学専攻									
	博士前期課程	2	25	—	50	修士（政治学）	0.50	昭和27年		
	博士後期課程	3	5	—	15	博士（政治学）	1.26	昭和29年		
	経済学専攻									
	博士前期課程	2	35	—	70	修士（経済学）	0.48	昭和27年		
	博士後期課程	3	7	—	21	博士（経済学）	0.28	昭和38年		
	経営学研究科									
	経営学専攻									
学	博士前期課程	2	40	—	80	修士（経営学）	1.03	昭和34年		
	博士後期課程	3	8	—	24	博士（経営学）	0.75	昭和34年		
	文学研究科									
	日本文学専攻									
	博士前期課程	2	6	—	12	修士（文学）	1.83	昭和39年		
	博士後期課程	3	2	—	6	博士（文学）	3.16	昭和39年		
	英文学専攻									
	博士前期課程	2	6	—	12	修士（文学）	1.00	昭和39年		
	博士後期課程	3	2	—	6	博士（文学）	0.16	昭和39年		
	仏文学専攻									
の	博士前期課程	2	6	—	12	修士（文学）	0.74	昭和39年		
	博士後期課程	3	2	—	6	博士（文学）	0.66	昭和39年		
	独文学専攻									
	博士前期課程	2	6	—	12	修士（文学）	0.66	昭和46年		
	博士後期課程	3	2	—	6	博士（文学）	0.00	昭和49年		
	演劇学専攻									
	博士前期課程	2	6	—	12	修士（文学）	0.41	昭和46年		
	博士後期課程	3	1	—	3	博士（文学）	0.33	昭和49年		
	史学専攻									
	博士前期課程	2	25	—	50	修士（史学）	0.80	昭和32年		
状	博士後期課程	3	6	—	18	博士（史学）	1.38	昭和32年		
	地理学専攻									
	博士前期課程	2	5	—	10	修士（地理学）	0.40	昭和32年		
	博士後期課程	3	2	—	6	博士（地理学）	0.66	昭和39年		
	臨床人間学専攻									
	博士前期課程	2	14	—	28	修士（人間学）	0.74	平成17年		
	博士後期課程	3	4	—	12	博士（人間学）	0.58	平成19年		
	況									

既設大学等の新設	情報コミュニケーション研究科											
	情報コミュニケーション学専攻											
	修士課程	2	25	—	50	修士 (情報コミュニケーション)	0.38	平成20年				
	教養デザイン研究科									東京都杉並区		
	教養デザイン専攻									永福1-9-1		
	修士課程	2	20	—	40	修士 (学術)	0.55	平成20年				
	理工学研究科									神奈川県川崎市		
	電気工学専攻									多摩区東三田1-1-1		
	博士前期課程	2	75	—	150	修士 (工学・学術)	0.93	平成5年				
	博士後期課程	3	6	—	18	博士 (工学・学術)	0.60	平成5年				
	機械工学専攻											
	博士前期課程	2	77	—	154	修士 (工学・学術)	0.86	平成5年				
	博士後期課程	3	7	—	21	博士 (工学・学術)	0.28	平成5年				
	建築学専攻											
	博士前期課程	2	56	—	112	修士 (工学・学術)	0.70	平成5年				
	博士後期課程	3	5	—	15	博士 (工学・学術)	0.00	平成5年				
	応用化学専攻											
	博士前期課程	2	35	—	70	修士 (工学・学術)	1.28	平成5年				
	博士後期課程	3	5	—	15	博士 (工学・学術)	0.40	平成5年				
	大学等の新設	基礎理工学専攻										
博士前期課程		2	61	—	122	修士 (工学・理学・学術)	0.75	平成5年				
博士後期課程		3	10	—	30	博士 (工学・理学・学術)	0.60	平成7年				
新領域創造専攻												
修士課程		2	50	—	100	修士 (工学・理学・学術)	0.57	平成20年				
農学研究科												
農芸化学専攻												
博士前期課程		2	26	—	52	修士（農学）	0.95	昭和34年				
博士後期課程		3	2	—	6	博士（農学）	0.33	昭和53年				
農学専攻												
博士前期課程		2	20	—	40	修士（農学）	0.95	昭和53年				
博士後期課程		3	2	—	6	博士（農学）	0.66	平成2年				
農業経済学専攻												
博士前期課程		2	8	—	16	修士（農学）	0.62	昭和53年				
博士後期課程		3	2	—	6	博士（農学）	0.16	平成2年				
生命科学専攻												
博士前期課程		2	26	—	52	修士（農学）	1.34	平成15年				
博士後期課程		3	2	—	6	博士（農学）	0.83	平成15年				
状況		大学の名称	明治大学専門職大学院									
		学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は 称号	定員 超過率	開設 年度	所在地		
	ガバナンス研究科								東京都千代田区		平成19年度より学生募集停止	
	ガバナンス専攻	2	—	—	—	修士（公共政策学）		平成16年	神田駿河台一丁目			
	ガバナンス専攻	2	50	—	100	公共政策修士 （専門職）	0.71	平成19年	1番地			
	グローバル・ビジネズ研究科											
	グローバル・ビジネズ専攻	2	80	—	160	経営管理修士 （専門職）	1.01	平成16年				
	法務研究科											
	法務専攻	3	200	—	600	法務博士 （専門職）	0.98	平成16年				
	会計専門職研究科											
会計専門職専攻	2	80	—	160	会計修士 （専門職）	1.06	平成17年					

附属施設の概要	名称：図書館 目的：教育・研究の中核的機関として総合的な教養涵養及び専門的研究の積極的支援を担う 所在地：（中央図書館）東京都千代田区神田駿河台1-1 （和泉図書館）東京都杉並区永福1-9-1 （生田図書館）神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1 規模：23,914㎡（蔵書約231万冊，新聞・雑誌約2万タイトル，マイクロ資料，CD-ROM等の資料を所蔵）
	名称：研究所（社会科学研究所・人文科学研究所・科学技術研究所） 目的：明治大学における研究の基盤を担い，その専門分野について精深な研究及び調査を行い，学術の進歩発展に寄与する 設置年月日：昭和34年4月
	名称：博物館 目的：資料等の収集，整理，保存及び展示を行い，明治大学の学生，教職員，校友並びに一般公衆の利用に供し，教育・研究に資するための事業を行う 所在地：東京都千代田区神田駿河台1-1 アカデミーコモン地階 規模：商品部門，刑事部門，考古部門の3部門を持つ
	名称：国際交流センター 目的：外国の教育研究機関及び外国人学識者との学術・文化交流を促進し，本学の専任教職員及び学生の教育研究に資する 所在地：東京都千代田区神田駿河台1-1 研究棟3階 設置年月日：昭和61年4月
	名称：心理臨床センター 目的：臨床心理学的諸問題にかかわる相談・援助活動及び調査・研究を行うことにより，社会貢献を図るとともに，実習機関として臨床心理士の養成を行い，本大学の教育・研究に資する 所在地：東京都千代田区神田駿河台1-1 アカデミーコモン7階 設置年月日：平成16年4月 規模：246㎡（面接室3，遊戯療法室2，待合室2）
	名称：工作工場 目的：理工学部（主に機械系）学生に，教科目として教種の簡単な機械要素製作を行わせることにより，工作機械における基本的な加工技術を習得させ，機会の設計・製作に関する全体的な理解を深めることを設置の目的としている 所在地：神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1 生田キャンパス内
	名称：農場（菅田農場） 目的：農学部附属農場として，農場を擁し専任教職員により各専門分野の研究を行うと同時に農場実習・畜産実習等の実習教育に利用している 菅田農場 所在地：千葉県千葉市 規模：総面積26ha，農耕面積6ha，グラウンドと実習農場に利用されている 野菜・果樹等園芸作物の生産増に重点を置いている

教 育 課 程 等 の 概 要																
(理工学研究科 新領域創造専攻(D))																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
	(研究指導) 安全学研究								3	1				兼1		
	数理ビジネス研究								2							
	デジタルコンテンツ研究								1	2						
	小計0科目（授業科目として開講せず）					－			6	3	0	0	0	兼1		
博士 後期 課程 プロジェクト 系科目	先端数理科学Ⅰ	1前			2	○								兼1	集中	
	先端数理科学Ⅱ	1後			2	○								兼1	集中	
	Advanced Mathematical SciencesⅠ	1前			2	○								兼1	集中	
	Advanced Mathematical SciencesⅡ	1後			2	○								兼1	集中	
	日本古代学（考古学）Ⅰ	1前			2	○								兼1		
	日本古代学（考古学）Ⅱ	1後			2	○								兼1		
	小計（6科目）	－	0	0	12	－			0	0	0	0	0	兼4		
合計（6科目）		－	0	0	12	－			6	3	0	0	0	兼5		
学位又は称号	博士（工学，理学又は学術）		学位又は学科の分野					理学，工学								
教 育 課 程 の 編 成 方 針																
本専攻博士後期課程は，21世紀の知識基盤社会における様々な現象を文理融合・領域横断的な研究領域の基点として捉え，これらの中でも社会的関心の高い，安全学系，数理ビジネス系及びデジタルコンテンツ系の3分野に分類した領域を教育研究の対象とし，研究指導を中心とした教育課程を編成する。社会の安全を「環境」「システム」「都市・建築」「資源・材料」の側面から指向する安全学，数理ファイナンスを機軸とした数理ビジネス，アートコンテンツを中心に展開するデジタルコンテンツといった，多様化，複雑化，さらには高度化する社会文化を背景とした領域横断的な研究テーマを取り扱う。同時に，基礎的な素養の滋養にも配慮し，専攻間又は研究科間で実施されている特色ある教育プログラムに対しては積極的にこれらを学修できるものとする。																
卒 業 要 件 及 び 履 修 方 法								授 業 期 間 等								
指導教員による必要な研究指導を受けなければならない。								1 学年の学期区分			2				期	
								1 学期の授業期間			15				週	
								1 時限の授業時間			90				分	

教 育 課 程 等 の 概 要															
(理工学研究科 新領域創造専攻(D))															
科目 区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	(研究指導) 安全学研究								2	1				兼1	
	数理ビジネス研究							2							
	デジタルコンテンツ研究							1	2						
	小計0科目（授業科目として開講せず）					－			5	3	0	0	0	兼1	
博士 後期 課程	先端数理科学Ⅰ	1前			2	○								兼1	集中
	先端数理科学Ⅱ	1後			2	○								兼1	集中
	Advanced Mathematical SciencesⅠ	1前			2	○								兼1	集中
	Advanced Mathematical SciencesⅡ	1後			2	○								兼1	集中
	日本古代学（考古学）Ⅰ	1前			2	○								兼1	
	日本古代学（考古学）Ⅱ	1後			2	○								兼1	
	小計（6科目）	－	0	0	12	－			0	0	0	0	0	兼4	
合計（6科目）		－	0	0	12	－			5	3	0	0	0	兼5	
学位又は称号		博士（工学，理学又は学術）		学位又は学科の分野				理学，工学							
教 育 課 程 の 編 成 方 針															
本専攻博士後期課程は，21世紀の知識基盤社会における様々な現象を文理融合・領域横断的な研究領域の基点として捉え，これらの中でも社会的関心の高い，安全学系，数理ビジネス系及びデジタルコンテンツ系の3分野に分類した領域を教育研究の対象とし，研究指導を中心とした教育課程を編成する。社会の安全を「環境」「システム」「都市・建築」「資源・材料」の側面から指向する安全学，数理ファイナンスを機軸とした数理ビジネス，アートコンテンツを中心に展開するデジタルコンテンツといった，多様化，複雑化，さらには高度化する社会文化を背景とした領域横断的な研究テーマを取り扱う。同時に，基礎的な素養の滋養にも配慮し，専攻間又は研究科間で実施されている特色ある教育プログラムに対しては積極的にこれらを学修できるものとする。															
卒 業 要 件 及 び 履 修 方 法								授 業 期 間 等							
指導教員による必要な研究指導を受けなければならない。								1 学年の学期区分				2 期			
								1 学期の授業期間				15 週			
								1 時限の授業時間				90 分			

教 育 課 程 等 の 概 要

（理工学研究科 新領域創造専攻(D)）

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	(研究指導) 安全学研究								1						
	小計0科目 (授業科目として開講せず)						－		1	0	0	0	0		
合計 (0科目)		－	0	0	0	－			1	0	0	0	0		
学位又は称号		博士 (工学, 理学又は学術)		学位又は学科の分野				理学, 工学							
教 育 課 程 の 編 成 方 針															
本専攻博士後期課程は、 2 1 世紀の知識基盤社会における様々な現象を文理融合・領域横断的な研究領域の基点として捉え、これらの中でも社会的関心の高い、安全学系、数理ビジネス系及びデジタルコンテンツ系の3分野に分類した領域を教育研究の対象とし、研究指導を中心とした教育課程を編成する。社会の安全を「環境」「システム」「都市・建築」「資源・材料」の側面から指向する安全学、数理ファイナンスを機軸とした数理ビジネス、アートコンテンツを中心に展開するデジタルコンテンツといった、多様化、複雑化、さらには高度化する社会文化を背景とした領域横断的な研究テーマを取り扱う。同時に、基礎的な素養の滋養にも配慮し、専攻間又は研究科間で実施されている特色ある教育プログラムに対しては積極的にこれらを学修できるものとする。															
卒 業 要 件 及 び 履 修 方 法								授業期間等							
指導教員による必要な研究指導を受けなければならない。								1 学年の学期区分				2 期			
								1 学期の授業期間				15 週			
								1 時限の授業時間				90 分			

授 業 科 目 の 概 要			
（理工学研究科新領域創造専攻（D））			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	(研究指導)	21世紀の知識基盤社会における様々な現象を文理融合・領域横断的な研究領域の基点として捉え、これらの中でも社会的関心の高い、安全学系、数理ビジネス系及びデジタルコンテンツ系の3つの領域に関して、研究の実践・指導及び論文指導を行う。	
		(1 向殿 政男) 安全の少なくとも一つの分野に精通すると共に、安全を包括的、統一的に考察するという安全学の視点を持った安全の専門家の育成を目的とする。特にシステムに関する安全の分野から一つの専門分野を選択し、それに関する技術側面、ヒューマンファクタ的側面、マネージメント的側面等のいずれかについて協議を重ねながら、学生が主体となって研究課題を絞り込んでいくように学位論文指導を行う。	
		(2 菊池 雅史) 建築生産に多用されている資源・材料の環境負荷低減型・高付加価値型の資源循環手法について、共通認識の確立および合意形成の確保、以上を踏まえた最終的な意思決定を重視した客観的・工学的・定量的な評価システムの構築を目的として研究指導を行う。	
		(3 砂田 利一) 数学的観点からリスク分析の方法について研究指導を行う。このため、確率論、特に確立解析及び統計理論を応用する。さらに複数部門のリスクの相互関係をネットワークとして捉え、組み合わせ論とグラフ理論を適用する。量的問題には離散幾何解析学のアイディアを用いる。	
		(4 北野 大) 化学物質の安全性評価手法及び管理方法の研究開発を実施しうる高度職業人、研究者、研究指導者を育成するため、学生の博士論文提出に主眼を置いた研究指導を行なう。化学物質の安全性評価には基礎となる生物試験データが必須であり、新しい考え方に基づく新規毒性試験方法の開発などを行なう。	
		(5 山本 俊哉) 暮らしの安全・安心に係る建築・都市計画分野の高度職業人、研究者、研究指導者を育成するため、学生の博士論文提出に主眼を置いた研究指導を行う。研究課題は災害・事故・犯罪等に対する安全および生活の質（QOL）の向上に向けた建築・都市計画に係る各種の取り組みを支援するため、主として公的空間や地域社会に焦点を当て、建築・都市の計画技術やそれに係る歴史的変遷、合意形成の支援システムの開発などについて、学生と協議を重ねながら絞り込んでいく。	
		(6 宮下 芳明) デジタルコンテンツ分野の高度職業人、研究者、研究指導者を育成するため、学生の博士論文提出に主眼を置いた研究指導を行う。研究課題は、ヒューマンコンピュータインタラクション、エンタテインメントコンピューティング、音楽情報科学、コンピュータグラフィックス、ヴァーチャルリアリティ（仮想現実感）、メディアアートの分野を中心として学生と協議を重ねながら絞り込み、デジタルコンテンツ学の知見に基づく創造/享受メディアの研究開発を行っていく。	

授 業 科 目 の 概 要			
(理工学研究科新領域創造専攻(D))			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
博士 後期 課程 プロジェクト 系科目	先端数理科学Ⅰ	自然現象(地震, オーロラ, 磁気嵐, 太陽風, バルサー, 気温), 経済現象(株価, 為替, GDP, マネーサプライ, 通速度), 工学現象(電力), 生命現象(脳波, クレアチニン, 心電図, 血圧)等の複雑系現象の分野において活躍している国内の研究者を講師陣に迎え, 上記の複雑系現象に付随する時系列データの奥に潜む情報を発見, 解析する。	※文理融合を目指した大学院講義として開講する研究科間共通科目。修了要件には含まない。
	先端数理科学Ⅱ	文理融合科学の中のトピックの一つとして, 社会と生態系に現れる複雑現象というテーマを取り上げ, 数理科学の視点から講義する。特に, すでに確立した数理モデルの解析ではなく, 様々な現象に対するモデリングのプロセスに重点を置き, 複雑な現象から本質を抽出するモデリングによって, 現象の理解がどのように進むかを解説する。 キーワード: ゲーム理論, 行動生態, 群集生態, 文化伝達, 協力行動, 進化ダイナミクス	
	Advanced Mathematical SciencesⅠ	ニューロサイエンスに現れる様々な現象の解明に向けてこれまで実験科学, 理論科学は飛躍的な発展をしてきたが, 現在, 我々の前にそれに挑戦するかのような複雑な現象が現れてきている。本講義では特に, Mathematical Modeling of Excitable Cells and Neural Tissue に焦点を当てて, 具体的な現象を交えて, その最先端を講義する。	
	Advanced Mathematical SciencesⅡ	本講義では, 既存の分野を超えて学際的視点から, 数理科学と医学の相補的融合である「数理医学」を紹介する。特に, Mathematical modeling of cancer growth and treatment に焦点を当て, 具体的な現象を交えて, その最先端を講義する。数理医学に関する最先端のトピックを取り上げ, 特に癌増殖機構の数理的解明に向けて国際的に活躍している研究者を迎えろと共に, 我が国においてこの分野で活躍している講師陣を迎える。授業は既存の研究科科目を超えて, 学際的な視点から行う。授業で使用する言語は英語とし, 判定に用いるレポートも英語で書くことを原則とする。	
	日本古代学(考古学)Ⅰ	本講義では, 複眼的研究視座を養うため, 考古学を主体としたアプローチに加え, 日本史学と日本文学に関心を抱き, 広い視野からの講義を行う。 具体的には, 平城宮跡, 平城京跡の発掘調査で明らかになっている調査成果を, 報告書の原典資料を示しながら述べるとともに, 考古学の発掘調査報告書の活用方法を具体的に示すことにする。また, 天平12年~17年(740~745)まで, 聖武天皇は恭仁京, 難波京, 紫香楽宮と遷都した。この時期に, このような相次ぐ遷都が行われた要因, あるいは歴史的背景は何だったのか。この課題を, これらの都城の発掘調査成果と, 『続日本紀』などの文献史料, さらに出土している木簡などから, 総合化して考える。	
	日本古代学(考古学)Ⅱ	本講義では, 複眼的研究視座を養うため, 考古学を主体としたアプローチに加え, 日本史学と日本文学に関心を抱き, 広い視野からの講義を行う。 具体的には, 飛鳥時代に営まれた政権をになう中枢部である宮都に関連する都城遺跡の発掘調査では, 推古の宮都である豊浦宮, 小墾田宮の構造は明らかでないが, 孝徳の難波長柄豊碕宮, 天智の近江大津宮, 天武の飛鳥浄御原宮, 持統の藤原宮に関連する遺構が検出されており, 7世紀の宮都の実態がかなり判明している。ここでは, 近年の調査で明らかになった飛鳥の稲淵川西遺跡, 石神遺跡, 水落遺跡と斑鳩宮などの宮殿関連遺跡をもふくめて, 7世紀に造営された多くの古代都城の実態, 本質を考古学資料と『日本書紀』などの文献史料を総合化して述べる。	